

プロジェクト

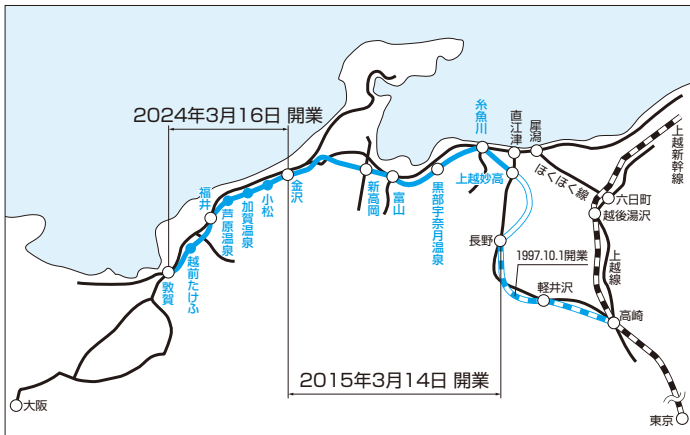
■北陸新幹線プロジェクト

北陸新幹線は、全国新幹線鉄道整備法に基づき、東京～大阪までの整備計画が定められている整備新幹線です。1997年10月1日に高崎から長野までの117kmが、そして2015年3月14日に長野から金沢までの228kmが開業しました(当社の営業区間は上越妙高から金沢間です)。

金沢から敦賀間の125km(工事区間：白山車両基地～敦賀間114km)については、2012年6月に用地・土木構造物関係の工事実施計画の認可が得られ、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構が建設主体として工事を進め、2024年3月16日に開業しました。

なお、開業後は当社が同区間を運営することになります。

●北陸新幹線の整備状況

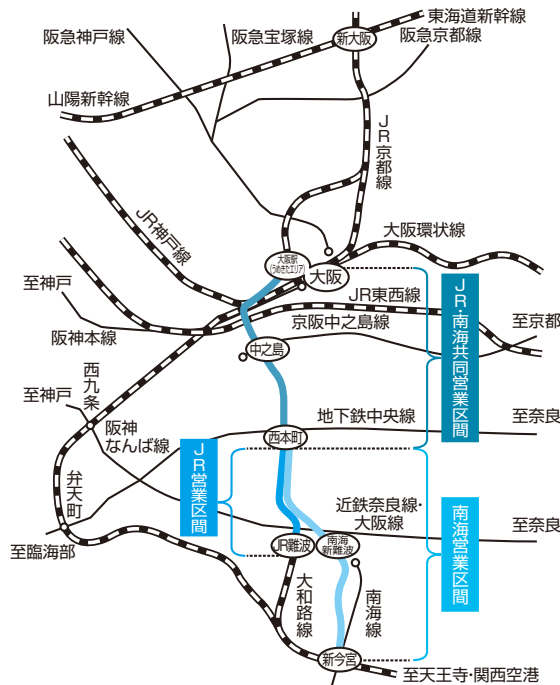


■近畿エリア関連プロジェクト

近畿エリアでは、安全・安定輸送や利便性の向上、線区価値の向上などを目的にプロジェクトを進めています。

●なにわ筋線

なにわ筋線は、2023年3月に開業した大阪駅(うめきたエリア)と、JR難波駅および南海本線の新今宮駅をつなぐ新たな鉄道路線として関西高速鉄道が鉄道施設を整備・保有し、JR西日本および南海電鉄が鉄道施設を使用して旅客営業する計画です。なにわ筋線の整備により、関西国際空港や新大阪駅へのアクセス性の向上、鉄道ネットワークの強化、大阪の南北都市軸の強化などの効果が図られることとなります。2031年春開業に向け、関係者と協力し計画を進めています。

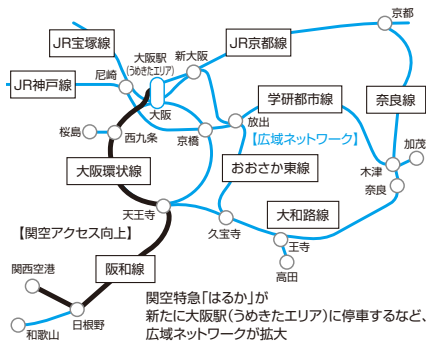


●大阪駅周辺プロジェクト

大阪駅周辺では、東海道線支線地下化・新駅設置事業やうめきた2期地区開発計画など、大阪駅西側地区を中心に、周辺地域との一体的なまちづくりが進められています。

JR西日本グループでは、西日本最大のターミナルである大阪駅が、将来にわたって大阪の玄関口として利便性が高く、賑わいのある拠点となるべく、2011年には大阪ステーションシティをグランドオープンし、2019年12月に大阪駅西側地区の開発に着手しました。

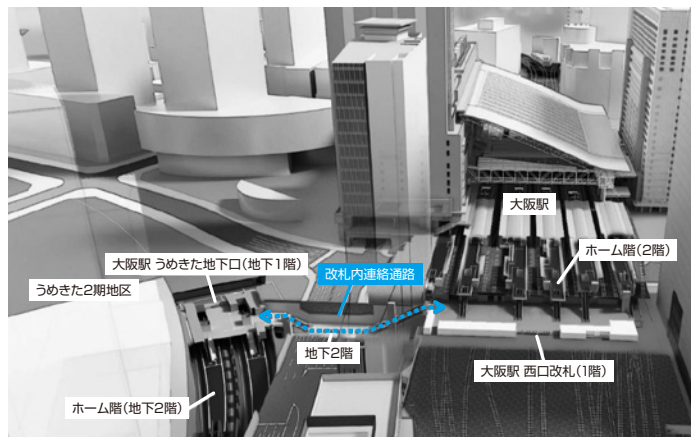
2023年2月に東海道線支線の地下化が完了、2023年3月に大阪駅(うめきたエリア)が開業しました。



(1)西口改札整備

大阪駅の混雑緩和、新たなバリアフリールート整備および西側地区へのアクセス向上の観点から、各ホームにアクセス可能な新たな改札口を西側高架下に整備し、2023年3月に開業しました。

今後、西口改札周辺には、ご利用の多様なニーズに対応する商業ゾーンを展開し、快適で魅力あふれる駅空間を創出します。あわせて、同高架下にバスターミナルを新設し、大阪駅の交通結節機能のさらなる強化を図ります。



(2)新駅ビル開発「イノゲート大阪」

本計画は、大阪駅西側開発エリアの玄関口に位置し、周辺施設とは2階連絡通路で接続することで、歩行者回遊動線の起点となり非常に高い利便性を有します。また、2023年3月18日に供用開始したJR大阪駅の新改札口（西口）と直結するほか、全7駅13路線の快適なマルチアクセスに対応しています。さらに、同日開業した特急「はるか」等が乗り入れる大阪駅（うめきたエリア）とも接続し、関西国際空港とのアクセスが便利です。2031年には「なにわ筋線」の開業により、JR大阪駅から関西国際空港までの所要時間が短縮され、国内だけでなく、海外へのアクセスも向上し、グローバルビジネスをサポートします。

イノゲート大阪は、2024年7月31日に開業しました。

INO GATE OSAKA



(3)大阪駅西地区開発計画「JPタワー大阪」

日本郵便株式会社、株式会社JTbおよびJR西日本グループによる共同開発として、旧大阪中央郵便局敷地を含む大阪駅西地区を開発します。回遊性の高い歩行者ネットワークを整備することにより、JR大阪駅北側エリアなど、周辺との新たなつながりを形成するほか、西日本最大級のオフィスや、商業施設と劇場を設けることで、商業、文化のにぎわいのある街並みを形成します。

あわせて、バンケット施設も有するホテル機能を導入し、2025年の大阪・関西万博に向けてさらに高まる需要への対応を図ります。

2024年3月12日に竣工しました。

JP TOWER
O S A K A

南東広場イメージ（JR大阪駅南側から）



●三ノ宮新駅ビル開発

神戸三宮ターミナルは1日の乗降客数が70万人を超え、広域アクセスへの神戸空港や山陽新幹線の新神戸駅にも至近であり、神戸エリアの重要なハブとなっています。本計画では、「えき〜まち」空間の実現に向けて、

- ・駅と駅をつなぐ、見通しの良くわかりやすい乗換動線の確保
- ・「えき」と「まち」を一体的な空間とするため、まちに向かい開かれた空間の確保
- ・広場空間の整備による人のための待合・イベント空間の確保
- ・新駅ビルの低層部と三宮クロススクエアとが一体となったにぎわい空間の創出

などを図り、神戸の玄関口にふさわしい魅力的な空間の創出をめざします。

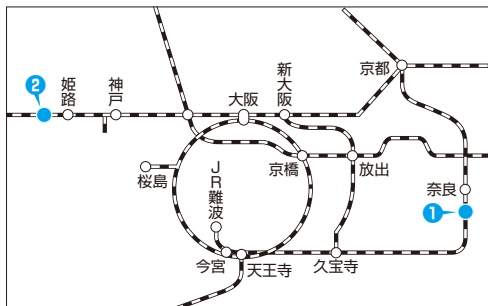
新駅ビルにおいて、商業施設、ホテル、オフィス、広場空間を導入し、JR西日本グループ・URとの共同事業として2029年度の開業に向け、2024年4月以降新駅ビルの工事に着手しています。



※パースはイメージであり、今後の設計および関係機関との協議により変更となる場合があります。

●新駅設置

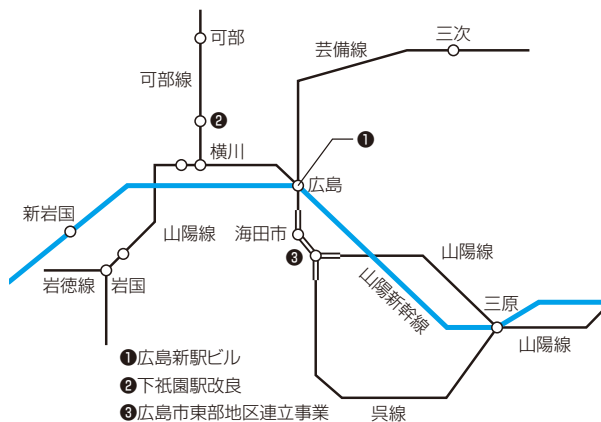
当社では、駅を核とした地域のまちづくりに寄与するとともに、お客様の利用しやすい輸送機関となるよう、新駅設置を進めています。



線名	駅間	設備概要	開業予定
① 大和路線	奈良郡山	高架下駅舎相対式ホーム2面	未定
② 山陽線	姫路英賀保	橋上駅相対式ホーム2面	2026年春

■広島エリア関連プロジェクト

広島エリアでは、まちづくりと一体となった橋上化や駅改良、また、広島駅周辺の拠点性向上を目的としたプロジェクトを行っています。



●広島新駅ビル[ミナモア]

新駅ビルは、広島・瀬戸内の玄関にふさわしく、広島に新たな賑わいや交流、感動を創出する施設となることをめざし、商業・ホテル・駐車場を導入します。

特に、駅ビル2階の路面電車が進入する空間は、広島駅中央口改札や新幹線口改札から段差なくフラットにつながり、駅と歩行者空間、商業施設が一体となった魅力的な空間を創出します。また、駅ビル1階に整備される駅前広場ともつながり、ご利用しやすい公共交通ネットワークを形成します。

2025年春の開業に向け、2021年3月より新駅ビルの工事に着手しています。

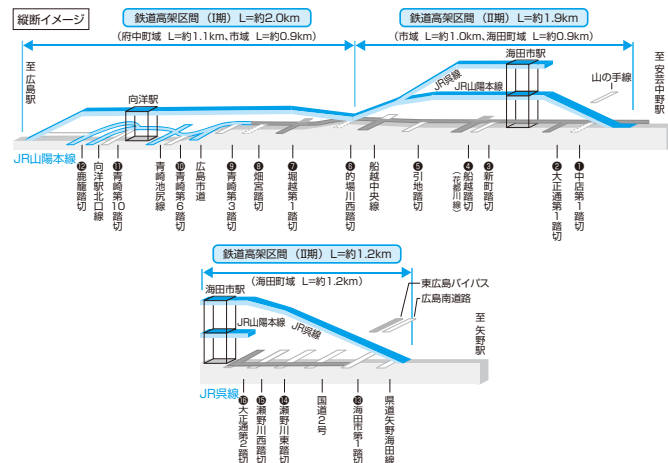


※パースはイメージであり、今後の設計および関係機関との協議により変更する場合があります。

●広島市東部地区連続立体交差事業

広島市東部地区連続立体交差事業は、広島都市圏東部地域の交通の円滑化や市街地分断の解消によるまちづくりを目的とし、広島県、広島市が行う都市計画事業です。

当社は、踏切除却による安全性向上、街の分断の解消によるまちづくりへの貢献等の観点から事業に寄与したいと考えています。



■大阪・関西万博へ向けた取り組み

大阪・関西万博の開催に向けて、当社グループでは、会場へお越しになるお客様を安全・快適にお運びするために、万博アクセス輸送の検討を進めているほか、開催に向けた機運の醸成や大阪駅（うめきたエリア）を中心とした「JR WEST LABO」の推進により、万博の成功に貢献します。

【参考】大阪・関西万博概要

- テーマ いのち輝く未来社会のデザイン
- コンセプト People's Living Lab
(未来社会の実験場)
- 会場 夢洲(大阪市此花区)
- 開催期間 2025年4月13日～10月13日



提供：2025年日本国際博覧会協会

●万博アクセス輸送

お客様の安全確保を最優先に、万博アクセス輸送を支える交通事業者として、次の取り組みを計画しております。

- ①JRゆめ咲線ルート(鉄道+シャトルバス)における取り組み
 - ・JRゆめ咲線の輸送力増強、シャトルバス運行に向けた万博協会との連携
 - ・シャトルバスへの乗換安全性向上のため、桜島駅の駅改良を実施(会期中限定)
- ②Osaka Metro 中央線との乗換結節点である弁天町駅改良
 - ・駅舎および改札口の新設、昇降機器やバリアフリートイレなどの整備
 - ・Osaka Metro 中央線との乗換円滑化のための連絡通路およびホーム改札の整備
- ③持続可能な万博開催に向けた取り組み
 - ・JRゆめ咲線を走行する列車のカーボンニュートラル化
 - ・脱炭素に資するシャトルバス運行



弁天町駅新駅舎イメージ

●機運醸成の取り組み

当社グループが一体となり、万博の機運を盛り上げるべく、さまざまな取り組みを展開しております。

- ①当社グループのアセットを活用した機運醸成の取り組み
 - ・大阪・関西万博 ラッピング列車の運行(大阪環状線およびJRゆめ咲線)
 - ・大阪・関西万博 ラッピング新幹線の運行(東海道・山陽・九州新幹線および北陸新幹線)
 - ・大阪駅ビルEXPO2025ラッピング 等
- ②ショップ展開
 - ・大阪・関西万博 オフィシャルストアの展開(JR新大阪駅エキマルシェ店)
 - ・大阪・関西万博 ポップアップショップの展開(西日本エリア各地) 等



大阪・関西万博ラッピング列車 (323系)



大阪・関西万博ラッピング新幹線 (N700系)
©Expo 2025

●JR WEST LABO

「JR WEST LABO」では以下のめざす姿の実現に向け、「イノベーションの実験場」としてさまざまなパートナーとの共創によりオープンイノベーションを加速させ、新たな価値創造にチャレンジします。

まずは、2023年春に開業した大阪駅（うめきたエリア）を「未来社会の実験場」として位置づけ、大阪・関西万博の参加型プログラムである

「TEAM EXPO 2025」プログラムへ参画し、大阪・関西万博のテーマでもある「いのち輝く未来社会のデザイン」の実現に貢献していきます。

- ①デジタル×リアルが生み出す新たな価値(サービス)
- ②人と技術が融合し、誰もが参画し活躍できるフィールド
- ③お客様と共に進める環境負荷軽減の取り組み



JR WEST LABO イメージ

■TWILIGHT EXPRESS みずかぜ 瑞風

西日本に数多くある日本の原風景とも呼べる場所を舞台に、山陰・山陽を運行する「TWILIGHT EXPRESS 瑞風」。ホテルのような上質さと心休まる懐かしさを感じる車両、美しくうつろいゆく車窓、食の匠が監修する沿線の多彩な食材を使った料理、沿線の豊かな自然や歴史、文化。そして、沿線のみならずよるあたたかいおもてなしと、一流のホスピタリティと美意識をまとったクルーたちによるご案内。お客様お一人おひとりに、ここでしか味わえない特別な列車の旅をご提供いたします。

(ウェブサイト) <https://twilightexpress-mizukaze.jp/>



●ネーミングとロゴマーク

「瑞風」とはみずみずしい風のことであり、吉兆を表すめでたい風という意味も併せ持ちます。「瑞穂の国」と呼ばれる美しい日本に、新しいトワイライトエクスプレスという風が幸せを運んでくる、そんな情景をイメージしました。

ロゴマークは、MIZUKAZEの“M”を山並みに見立て、吹き抜けていく風をトワイライトエクスプレスの象徴である天使で表現しました。

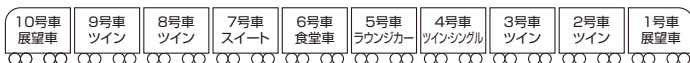


ロゴマーク

●車両

●編成

ザ・スイート1両、ロイヤルツイン(ユニバーサル対応)・ロイヤルシングル1両、ロイヤルツイン4両、食堂車1両、ラウンジカー1両、展望車2両(編成両端)からなる10両編成です。



●動力方式

ハイブリッド方式(ディーゼル発電機で発電した電力とバッテリーアシストによるモータ駆動)です。

●客室

3タイプの客室(ザ・スイート、ロイヤルツイン、ロイヤルシングル)を設け、定員は最大34名です。

●展望車

空まで望むことができる開放的な展望室から雄大な景色や星空といった車窓をお楽しみいただけるとともに、展望デッキでは沿線の風を感じいただけます。



展望デッキを含むエクステリア

●世界有数の客室

世界的にも希少なザ・スイートの客室は1両1室の広いスペースで、エントランスやプライベートバルコニー、リビング・ダイニング、寝室、バスタブ付きの本格的なバスルームを設置しています。

●建築、工業デザイン、食の第一人者が監修

京都迎賓館をはじめホテルや迎賓施設等の設計に携わってきた浦一也氏、新幹線をはじめ鉄道車両のデザインを手がけてきた福田哲夫氏や、食の権威で和洋を問わず食に造詣が深い門上武司氏に監修していただきました。

●運行開始 2017年6月17日(土)

●日程

1泊2日の片道タイプと2泊3日の周遊タイプをご用意し、1日1回立ち寄り観光を実施します。

●始発・終着駅

京都、下関の各駅から始まり、下関、京都に至ります。

●運行ルート・コース ※状況により、変更する場合があります。

山陰本線経由と山陽本線経由、計5コース

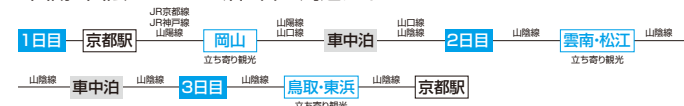
●山陰コース 1泊2日 片道タイプ



●山陽コース 1泊2日 片道タイプ

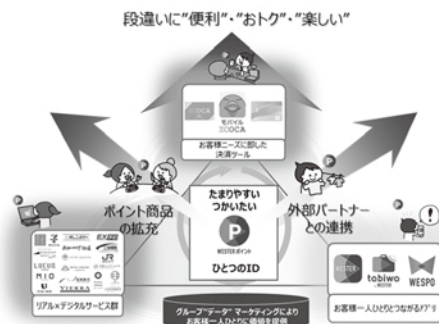


●山陽・山陰コース 2泊3日 周遊タイプ



※ 3月~9月の立ち寄り観光は城崎温泉になります。

■WESTERがめざすサービス像とは



お客様の心を動かし、未来を動かしていくために、お客様の生活に寄り添うアプリや、決済ツール、そして物飲・ホテルなど多様なグループ事業を展開しています。

これらを“つなげて”、リアルでもデジタルでもお客様の生活に寄り添うこと。そして、WESTER会員サービスを活用し、グループデータマーケティングによってお客様一人ひとりに合ったサービスを提供しつづけることで、これまでとは段違いに「便利」で「おトク」で「楽しい」WESTER体験を創ろうとしています。

さらに、グループ外の事業者や、地域との連携を深め、ひと、まち、社会とつながることをめざします。

■WESTERポイント

WESTER体験の中核を担う、JR西日本グループ共通のポイントサービスとして2023年3月に開始した「WESTERポイント」。

鉄道のネット予約や、SCでのお買い物に、ホテルでの宿泊など、暮らしのさまざまな場面で「たまる」「つかえる」ポイントサービスをめざします。

WESTERポイントを活用し、お客様一人ひとりの利用するサービス数の増加や、店舗での購入金額の増加を図るキャンペーンを展開していきます。また、WESTERポイントをつかえる鉄道グッズや、グループの資産を活用したポイント利用商品を拡充することで、つかいたいポイントサービスをめざします。

WESTER会員数はおよそ800万人。(2024年4月時点)



WESTERポイント

■移動生活ナビアプリ「WESTER (ウェスター)」

便利でおトクで楽しいワクワクする源であり、グループデジタル戦略の中核となるのが、移動生活ナビアプリ「WESTER (ウェスター)」です。当社グループや社外も含めさまざまなサービスと連携し、お客様とのデジタル領域における統合的接点となります。そして、WESTERを通じて24時間お客様とつながり続け、さまざまな魅力あるサービスを発信します。さらに、集まってくるデータを利活用してさらに良いサービスをお客様に体験いただけます。それにより、1to1マーケティングを実現し、ご利用になられるお客様の増、ご利用頻度増につなげることで地域の発展に貢献し、データが“つなぐ”未来型のまちづくりに挑戦していきます。



移動生活ナビアプリ
WESTER

300万DL突破!!
(2024年9月時点)

■tabiwa by WESTER

おトくに、便利に旅行を楽しむことができるツールとして、目的地までのおトくなJRセットプランや宿泊プランを発売する「tabiwaトラベル」や、旅の目的となる特別なこだわり企画、「北陸・せとうち・山陰エリアの鉄道・バスなどが乗り放題の周遊バスや観光・グルメのチケット、おトくなクーポンなど、旅に必要なサービスを展開しています。

西日本エリア地域の活性化が当社グループの長期持続的な成長につながるとの認識のもと、データやデジタル技術を駆使し、観光需要やヒトの移動の創出に取り組んでいきます。

※「tabiwaトラベル」・こだわり企画は2024年10月からサービス開始

